

4月6日(日) 鈴鹿組第8回はなまつりが楠平尾専念寺様を会場に執り行なわれました。前日は飾り付けなど準備がされ、満開の桜咲く当日たくさんの参拝の中「らいはいのうた」のおつとめが本堂に響きました。子どもさんの灌仏の後、法話、甘茶の接待、お楽しみのコーナーでは、井関さんの手品と別院から寺西・墓両職員さんに来ていただきゲームで盛り上がりしました。お釈迦さまお誕生のお祝いは「一人一人のいのち尊し」とであう一日でもあります。 みなさんようこそ、ご縁に遇われました。



にぎわいの はなまつり



お釈迦さまありがとう



4月7日無量寿会はなまつり・総会が開催されました。



この日も井関さん
花いっぱいの手品



父母が恋しい 札幌市 大島義勝

父、母話

何言 母恋

黙つ聴 居 父頼

父母優 存在懐

今 自分黙つ聴

息子感性 話聞

娘心 話聞

正 判断 聞

何 受止

自分 父親 出来

何 受止

父、母想 何故悲

私 父母 居

昭和感性 薄 世間話

冷 世間 職場 薄 親和感

何 自分 受入 難

父 母 今自分 話

今朝 手合 南無阿弥陀仏



北の街、札幌にも待ちに待った遅い春が訪れました。毎日が心ウキウキの気持ちで、小さな庭の花蕾達に話しかけながら手入れを行っています。

クロッカス、水仙、チュウリップが私の語りかけに言葉を返してくれているようで、何時しか時間の経つのを忘れていきます。ところで、今我息子・娘が、社会に出て出遭う事について、私共にそのことを話す事がありますが、残念なことにそれに相槌を打つだけで精一杯です。若き日の自分に置き換えて思う時に、当時の父母の愛有る、その対応に少しでも近づけたらどうかとふと思ひ、あの時の自分に還り、今は亡き父母に今一度、あの若さで語りかけたいと思う昨今です。

大島さんのお手紙より

春愁や 街道旅館 暖簾消す

散り降に キラリと光る 山桜

出逢いあり 別れもありし 桜道

花桜 月のしづくに 息づけり

寂しさは 語らぬものと 春鴉

野の蝶や その身飾らず 妙なるに

何食わぬ 仏顔して 葱坊主

落合登代子



人の世の儚さ 大島義勝

年老 頁

明日 思心 桜

夜半 嵐

言葉 心 沁

消 我 灯

私 誰 判

今朝 挨拶 交

朝 紅顔 夕

白骨 頁

文章 心 沁

現実 目前

人世 儚 心 濡

今日 生

何 忘

大切 捨

遺 事 沢 心

聞 合

花咲 小鳥歌 迦陵頻伽

南無阿弥陀仏



人生 60 歳・還暦を迎えられた皆さんにご案内

「還暦のつどい」を開催致したく、昭和 28, 29 年のお生まれの方はお寺までお知らせ下さい。



朝倉市

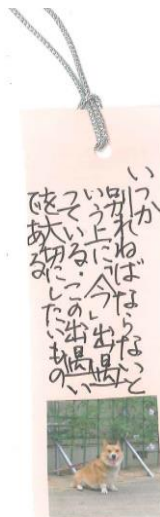
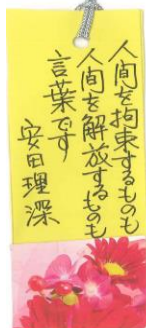
森田

瑛子

さん

より

風薫る五月の候季節になって
きました、くれぐれも皆さま
お大事になさって下さい。



札幌市

大島

光子

さん